

わくわく国際交流

深川国際交流協会 広報誌 Vol.14 2003.3



↑ '02 青少年カナダ交流訪問団（ファーガソン市長と記念撮影）



↑ '02 青少年カナダ交流訪問団（キャンプにて）



↑ '02 青少年カナダ交流訪問団（乗馬体験）



↑ '02 青少年カナダ交流訪問団（ナイバー先生の最後の授業）



↑ アボツフォード市交換留学生（多度志小学校「多小まつり」にて）



↑ アボツフォード市交換留学生（伊達時代村にて）

※本誌は、(財)自治総合センターから宝くじ普及広報事業費の助成を受けて作成されたものです。

'02 青少年カナダ交流訪問団報告

'02 青少年カナダ交流訪問団

2002年7月25日から8月9日の行程で実施された青少年海外派遣事業（青少年カナダ交流訪問団）の報告として、参加された皆さんに思い出を綴ってもらいました。

7月25日（木） 「つ、つ、つ、つ、つ、ついに！！！」

深川東商業高校2年 関 晶子

7月25日。まちにまった出発の朝。その日、親や友達たくさんの方が見送りに行ってくれた。

みんなとお別れをして貸し切りのバスに乗り、新千歳空港へ向かった。バスの中では、いつも通りみんなハイテンションでそれぞれ話をしたり「小さな世界」を歌ったりと元気が、かなり良かった。空港に着くと、すぐ荷物チェックをしてバンクーバーまでスーツケースを送った。それから、みんなで昼食を食べてからPM2時40分ぐらいに飛行機に乗った。寝たり、ジュースを飲んだり快適だった。成田空港に着きバンクーバー行きの飛行機までの時間が、たっぷりあったのでそれぞれ買い物をしたり自分の好きなことをした。成田で、日本円をカナダドルにしたときは、本当に行

くんだなあ・・・っと実感がわいてきた。外も暗くなってきたので、みんなと夕昼を食べた。食べ終えてパスポートにハンコを押してもらい、女子は香水を買いに走りくるっていた。男子は、2人の世界に入り込んでいた。



PM 8時55分、ついにバンクーバーまでの飛行機に乗りこんだ！！8時間の飛行時間もあっという間に過ぎた。カナダに着い

た瞬間、口から心臓が出てきそうなくらい興奮した。いろいろな手続きをおえて、スーツケースから「めんつゆ」がこぼれていた！！しかし、服やゆかた何もしみついてなくて、一安心 空港ではキャリーさんが待っていてくれた。スクールバスも用意されてて乗り込み、あっという間にホームステイ先に行かされた。だけど、私とゆうやのホストファミリーが来なく二人は、かなりあせりまくっていた。が、ちゃんと二人とも行ってくれて、またまた一安心 この2週間の中で、どんなことが起こるんだろう・・・っと、かなり興奮・緊張した。すべてが初めてだらけだったから、胸をドギマギさせながら、一日が過ぎたのであった。

7月26日（金） 「2日目」

深川西高校1年 岩井 梨菜

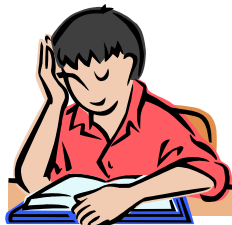
今日は初めての英語の授業 みんなホストファミリーと一緒に学校に来た。

時間通りに超～美人な Mrs. Nyberg の授業が始まった。Mrs. Nyberg はすっっっごく優しくてビックリ！！

午前中の授業が終わってまちにまった Lunch time♡♡♡ が、しかし・・・Lunch を見てビックリ！！なんと、果物がまるごと1個、皮まま入ってたのだあ～！！！！これにはみんなビックリだった。

ごはんを食べてみんなでフロアホッケーをした

そして、午後の授業が始まった。



さっきやったフロアホッケーときのうの長旅の疲れで眠気MAX

になってしまいついとうとしてしまった（困）

Mrs.Nyberg ゴメンなさーい（謝）

午後の授業が終わった。明日、あさってはホストファミリーと過ごすということでみんな不安とさみしさで「帰りたくな～い」と言っていた。

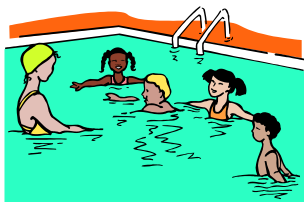
と、まあ～今日はこんな1日でした

おっしまいっ！！

7月29日(月) 「ウォーターライド日」

深川西高校1年 北畑 美智代

今日は楽しみにしていたカルタス・レイクへウォーターライド!!朝からあまり天気がよくなく、そしてちょっと肌寒く・・・あまりプール日和の日じゃなかった。学校で1時間程度授業をした後バスに乗って数十分、やっと到着・・・っと突然!!雨がパラパラ降ってきた。けどそんなのおかまいなしにみんな更衣室に行き水着に着替えた。更衣室から外に出て一言・・・'寒っっ!!!'だった。鳥肌立ながらもプールに向かって走った。目の前のプールのいろんな種類にビックリした。



あったかい温泉みたいのからほぼ直角90度にちかいすべり台からくねくねのすべり台を浮輪のってすべりおりてきたり、まだまだ面白そうなのがかった。まず体を温めるのが1番だと思ったみんなは温泉につかり、温まった後、自分の好きな所へenjoyしに行った。どれもこれも面白かった。お昼になり昼食を食べるのに水着

から服に着替えてそれぞれホストファミリーに作ってもらったご飯をほおばった。満腹になったところで男子はリッキーと3人でミニゴルフ!!女子は順子さんとナイバー先生と10人で近くにあるお店で買い物をした。帰る時間になり女子達はスクールバスにもどってきた。それから数分・・・もしかしたら数十分、男子達がくるのを待ってやっとスクールバスにもどってきた3人をのっけ学校に向け走りだした。とっっっっても良い1日でした

7月30日(火) 「ワックワクの市長と対面♡♡♡」

深川市立音江中学校3年 今野 早織

7月30日、6日目。今日の授業は、お金の名前や使い方を練習した。紙のお金で自分の欲しいと思った物のちらしの品を切って上手に1人で買ってみようってゲームもした。最初は、お金が足りなかったり払い間違えたりすることもあったけど、みんなだんだんと良くなってきて授業の終わる頃には「お金についてはもう大丈夫かな」と思った。

10時頃、バスに乗って市長さんに会いに行った。市長さんに会う前に、市役所の中をぐるっと見学した。とてもキレイで、歴代の市長さん達の写真や市議会議員さん達の写真もたくさん飾られてあ

った。そして、一通見た後に上に行って市長室に入った。そこには、とってもやさしそうなファーガソン市長がいた。1人ずつ、自分の名前を言って握手をした。その後、ファーガソン市長はAbbotsfordについて色々と話してくれた。

それから、みんなで写真をうつして、リーダーのクミコちゃんが市長さんに白い恋人をお土産として渡してから、市長室を後にした。

学校に戻ってから外でみんなで昼食を食べた。昼食の時間は本当に、とてもにぎやかになる。日本では絶対に入っていないような食べ物や、果物がまるまると入っているのにはみんなとてもビックリ

してた。午後からは、初め体育館でバトミントンをしてたけど、すごく暑くて何十分経った後外でキックベースをした。みんなとっても燃えてた。今日は天気がすごく良かったから、外の方が気持ち良かった。いつも通り3時頃に、みんな帰って6時から女子8人でウェーブプールに行ってきた。みんな、サウナに入ったり、すべり台をしたり、温水につかっていたり色々な事をしてた。帰りにはみんな「楽しかった~。また来たいよね。」と会話しながら迎えを待っていた。

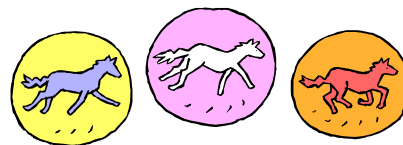
7月31日(水) 「乗馬」

深川市立一已中学校3年 田中 保佳

カナダに来て1週間が経過した日、私たちは乗馬体験をした。

英語の授業で、ハングマンや衣類のフラッシュカードを使った勉強をした後、ムスタング厩舎へ向けてバスは出発した。しばらくバスに揺られて着いた先は・・・民家!?といったかんじの所だった。

馬がいっぱいいた。そこで昼食をとり、まずは馬の乗り方の説明があった。それから順番に馬に乗っていった。始めはすごく恐かったけど、少し経つとみんな乗りこなしてた。馬に乗るのはお尻が痛いって聞いていたけど、あんまり痛くなかった。



でも馬が走ると、すごいはずんでやっぱり少し痛かった。だけどすごく楽しかった。道なき道を、枝を切りつつ進んでいった。歩いていた、美智代ちゃんと梨菜ちゃんは、すごく大変だったと思う。途中、道に木が倒れていたせいで、

引き返したりと大変だったけど、乗馬は楽しい！

とっても長くて疲れた私たちは、咽が渴いたので、ドライバーさんに頼んで、途中にあったマクドナルドに止めてもらった。それぞれ買って、バスに乗り込んだ。本当

は、スクールバスの中は飲食禁止なのだが、特別に OK してくれた！いい人だ。カナダのシェイクはやっぱり大きかった。バスに揺られ、やっと学校に到着！足が股になりそうなくらい痛くて、すごく疲れた 1 日でした。

8月1日(木) 「 8日目 」 _____

深川市立深川中学校 1年 北林 絵美里

今日は行事がなかったので、朝から英語の授業だった。まず、バラバラになっている単語を組み合わせて文章を作るゲームをした。2回やったけれど、だんだん単語が多くなってわからなくなった所もあった。でも、ナイバー先生がヒントをくれたので完成させることができた。そのあとは、前の授業で色を塗って作った洋服や靴のカードでフラッシュカードというゲームと、トランプでやるパバぬ

きのような物をした。とてもおもしろかった！それに、単語も覚えることができた。それから、今度のキャンプに使う言葉を覚えた。でも、初めて聞く言葉が多かった。～。昼食をとって、いつものスポーツをした。今日はフロアホッケーとバレーボールだった！動きまわったし、気温が高くてすごく暑かった。最後の方はみんなだら～んとしてしまった。(笑)それを見て、やさしいナイバー先生は

2:30 ごろスポーツをやめて、ホストファミリーが迎えにくるまで休憩タイムにしてくれた。みんな、教室に戻って、ジュースをのんだりする事ができた。

私のホストファミリーが迎えにきて、そのまま夕食の材料を買いに大きなスーパーへ行った。今日もすごく楽しかった。明日はバンクーバーだ END

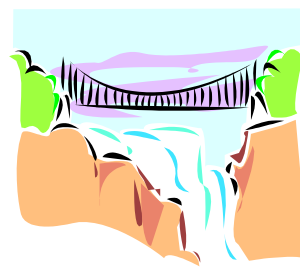
8月2日(金) 「 9日目 」 _____

深川市立一已中学校 3年 鈴木 卓海

今は朝の9時にグランビル・アイランドに向けて出発して、10時15分ぐらいにグランビル・アイランドに到着して、すぐに自由時間になった。自由時間は10時20分～12時15分までだった。しかもその中で昼食を食べる事だったので昼食を祐哉と食べる事になって、ぼくたちは昼食を食べるために、やたらと大きい場所にいるいろいろな食べ物の店が入っている所で食べて12時15分にバスが待っている所に戻り12時

20分ぐらいに、スタンレー・パークへ向けて出発して、1時間ぐらいで到着した。本当は散策する予定だったけど、雨が降っていたので水族館に変更した。水族館にはイルカなどがいた。そして2時ぐらいにキャピラノ溪谷に向けて出発した。そこには2時15分ぐらいに到着して、すぐに吊橋を渡ったその吊橋はかなり高かった。そこでは40分ぐらい自由時間があった。そして3時ぐらいにアボツフォードへ向けて出発しアボツ

フォードに到着して、それぞれの家に帰った。



8月5日(月) 「チリワックレイクでのキャンプ」 _____

深川市立一已中学校 3年 関向 祐哉

今日は、キャンプの日だ。土日ははさんでの月曜だったのでみんなと会えると思ってはりきって学校に行った。まずは、ふつうに9時から授業して10時15分ごろコーディネーターの人がむかえに来たのでみんなではりきってチリワックレイクにむかった。かなり

の時間道なき道を走ってついたのは山のキャンプ場ばい所だった。最初に自己紹介をした後、すぐにハイキングに行った。途中、すごいでかいナメクジがいた。それをコーディネーターのダンがさわっていた。そしたら女子がキャーキャー言っていた。そして樹令何千

年という木を見に行っただがどの木も大きく分からなかった。行きはみんな好調だったが帰りはみんなテンションが低かった。キャンプ場について夕食を食べた夕食はソーセージを木にさして焼いたやつをパンにはさめたホットドックだった。焼くのはむずかしくて

僕は3本くって3本落としたショックだった。その後デザートにマシュマロ焼きを食べたのだがみんなおいしいと言っていたが自分はそうは思わなかった。そして10時になりしゅう寝時間になってテントに入ったのだが男3人にはせますぎた。リッキーは蚊にきれて

いた。そしてごそごそリッキーがしていたのでたくみと僕はねむれなかったので起きるとまだ30分ぐらいいかたっていないのにリッキーの頭にはいつもの寝ぐせがついていたのでテントの中は爆笑だった。こうして1日目は終わった。



8月6日(火) 「キャンプ2日目」

深川市立深川中学校 2年 谷口 奈々

今日は、山登りをしました。昨日もしたけど、またするなんて・・・という気持ちが正直ありました・・・。片道で1時間半もかかって、帰りのことを考えると気持ちが沈んでいました。途中雨も降り出したし・・・でもすぐやんでよかったです。でも、そんなゆううつな気分を忘れさせてくれたのは、今まで見たことのないくらい綺麗な湖でした。キラキラしていて、そのまま絵はがきがあり

そうなくらい良い景色でした。いいものを見て、帰りは又ゆううつに・・・。そして待ちに待った夕食が!!!今夜はソーセージが数本、ベーグルパン、そしてこれいのみマシュマロでした。ビスケットにマシュマロとチョコレートをはさめた"スモア"という物は、甘い&苦しいで1個しか食べられなかったけど、又食べたいです。

最後にチョコレートドリンクも出されたけど、苦しくて飲めな

かった・・・。そしてキャンプファイヤーが段々小さくなり、寝る時間に・・・。なんだかさびしくなりました。今夜はついでに盛り上がりたいて勢いだったけど眠気に負けてねてしまいました。ああ、本当に疲れた!!!



8月7日(水) 「嬉しいやら、悲しいやら・・・。」

深川東商業高校 2年 小田 久美子

今日で、楽しかったキャンプも最終日だった。朝は6時40分起床という、前日の森の中を歩いたのが効いて、元気のない私達にとっては、とてもハードな寝起きから1日は始まった。みんな寝たとはいえ、疲れが残っているらしく、テンションはかなり低め!!昨日の朝、一人でバカみたくテンションが高かったリーダーも、一言も言葉を発ささないため、誰一人として生気のある顔はしていなかった・・・。

テントの中を片付け、キッチンに集まってみんなで breakfast だ!!本日のメニューは、ヨーグルトにグラノーラを入れたやつと、昨日女子に大人気だったブルーベリーにホイップクリームを入れたやつ、ジュースと果物だった。かなり美味しくブルーベリーを、たくさん食べました。

車に荷物を積み、キャンプ地を後にし、次はみなさんお待ちかねの「カヌー」だ!!

ものすごい道を走っていると、前方に何かいる・・・。そこには鹿が2頭も!!「すごい!!」と感動しつつ、写真を撮りました。

カヌーの所に着くとまず始めに、ライフジャケットの着方と乗り込み方、水上での場所移動の仕方、パドルの操作などを教わり、いざ水の上へ・・・。それと、フランス語で言ったカヌーを日本語で直訳すると、「森の走者」という意味だと言っていた。

みんなカヌーに乗り込み、ゆっくり進んだり競争したりして楽しんだ。次は、陸に上がって橋へ行った。すると!!美智代が大嫌いな犬がわんさか!!「大丈夫?」と見ると、小さくてモコモコの犬を触ってる!!犬嫌いまで直してしまうとは・・・。カナダはすごい!!

橋から川を見ると、赤くて大きな魚が居た。景色がまた美しかったなあ。

そして本日の Lunch は、大好

物になったベーグル&チョコ&果物&ジュースでした。みんな、カヌーで疲れたため、食べる食べる。楽しかったキャンプも終わり、少し寂しくなりながら学校に戻った。

家に帰ると、きっとみんなすぐにシャワーをあびたことだろう。2日ぶりのシャワーは最高だった。嬉しくて涙が出そうになった。そして、ここから女子は、浴衣を着るのにいっぱいになり、最後の行事である「さよならパーティー」へと向かったのだ。

パーティー会場はとてもきれいで、良い所だった。しかし、集合時間を過ぎているのに来てない人が多数!!そこで急きょ奈々のピアノ発表で楽しんだ。パーティーが始まり、あいさつやディナーがひとだんらくし、歌の発表になった。「ちいさな世界」をみんなで歌った。すると、帰りたくなかったのか、りなが泣き出してしまった。

パーティーは進み、次は「盆踊り」だ。これは楽しく笑って終了。

パーティーは終りに近付き、リーダーのスピーチがやってきた！！

名前を呼ばれて前へ出ると、うちのママの一言。「Oh My Godnes!!」ビックリしたのだろう。

スピーチが始まると、今までみんなやって来た事の全て、そしてホストファミリーとの生活、カナダに来てからの全てを思い出して

て来て、だんだん涙が出て来てしまった。

そして最後にみんなが大好きなナイバー先生から証書を1人づつもらい、抱きあった。もうみんな泣いていて、「泣かないで。」と言われたが、涙が止まるわけもなくみんな大泣きだった。

前でみんなで並んで写真を撮りました。記者会見なフラッシュはすごかったです。

パーティーは終り、帰らなくて

はいけなくなった。明日はもう帰国の日だ。「ああ～、帰りたくないなあ。もう少しここに居たいよお。」と昨日の朝からみんな何回も言っていた言葉です。

明日は帰国だ！！良い別れにしよう！！

笑って別れられるように・・・

リーダーくみでした。

P.S.そういえばゆうやと水切り勝負してないなあ・・・。

8月8日(木) 「別れ(涙の嵐)」

深川東商業高校2年 関 晶子

8月8日。ついにカナダで会った、たくさんの人々に会える日が最後になった。朝、集合時間じょじょにみんな集ってきて、各ホームステイのFamilyと最後のお別れをしていた。もう会えないと思うと、今までの思い出が、ぐっつと涙になって流れ落ちた。ホストファミリーとお別れをして、涙が止まらないままクラスへ行った。そこでは、笑顔でナイバー先生が待っていた。

最後の授業、時間が止まればいいな・・・っと、何度も思った。最初にみんなで「ホキボキー」を踊った。それからゲームをして楽しんだ。休けいをしてから、ナイバー先生から最後の話をしてくれ

た。それをじゅん子さんが訳してくれた。『私は「小さな世界」を聞いたら泣くかもしれません。みんなも「ホキボキー」を聞いたら私のことを思い出してください。私はみんなのことを忘れません』もう、涙は止まらなかった。みんなでリーダーが考えてくれた英語の文章を1人1行づつ読んでいった。ずっつとナイバー先生は笑顔でいてくれた。ナイバー先生が1人1人の本人の写真の裏にメッセージを書いてあるのを持らった。

私は一生の宝にします。学校の外では、バスが待っていた。みんなの目にはそれぞれの思いで涙があふれていた。バスの中でみんな大泣きした。空港につき値段の高

い昼食を食べてから、いろいろ手続きをした。アメリカのテロ以来、かなり厳しくなってみんなほとんどが手荷物チェックでひっかかり、小さなマユ毛用のハサミまで捨てられたり(泣)ヤスカの携帯に電源が入ってないだけでリッキーがどっかに連れて行かされたり、大変だった。ギリギリで飛行機に間に合ったが、みんな「もう1泊だけしたいよね」「なんかトラブらないかなあ(笑)」っと言いつつ。しかし、無事に何もなくて日本に帰ってきちゃたのであった。さようならホストファミリー！！さようなら大好きなナイバー先生！さようならCANADA！！

8月9日(金) 「16日目 = Final =」

深川西高校1年 岩井 梨菜

23分おくれで5時10分過ぎに成田についた。成田から新千歳に行くのは6:20。飛行機をおりたら5:20分を過ぎていた。ヤバイ！！1時間ない！！のりおくれー！！いそいで入国てつづきをすませ、にもつをとりに行った。飛行機がまっけてくれてたからなんとか間に合った。みんな自分の席についてシートベルトをしめて準備OK！だったその時、飛行機の中で放送がながれた。飛行機の中でのじゅうたいみたいなのであと20分くらい離陸できないらしい。そ

して、6:55すぎに離陸した。予定より23分おくれで新千歳空港についた。

空港には、勢登さん、宮田さんそして、深川観光バスが来ていた。みんなおなかがへっていたのでファミレス？みたいなところに行って御飯を食べた。久しぶりの日本にちょっと感動♡♡♡

深川についたのは1時間25分おくれのPM 11:50だった。楽しかった研修もとうとう終わってしまった。

つらかったこともあったけどそ

れ以上に楽しいことだらけの最高の研修でした。ありがとう、ホストファミリー、ありがとう一緒に行ったみんな！そして・・・ただいま！深川！！また、リッキー、じゅんこさん、くみ、しょうこ、みちよ、りな、やすか、さおり、たくみ、ゆうや、なな、えみりの12人でカナダに行きたいなあ～

本当に楽しかった2週間 みんなありがとう

International day を開催して

深川国際交流協会 副理事長 宇野 富美子

International day がプラザホテル板倉に於いて、2002年7月3日に開催されました。参加総数は中学生128名、外国人9名を含む約140名に及び、回数を重ねるごとに実りあるイベントとして定着した様に思われます。

この行事はクイズや各種の交流ゲームなどを通して、生の英語に触れ、中高生の国際的視野を深めることを目的として、国際ソロプチミスト深川が開催していたイベントを当協会が引き継ぎ、共催で開催することになり現在に至っています。

最初の頃、中学生は、はずかしさから積極的に会話ができずに当協会や国際ソロプチミスト深川のメンバーの助けが必要でした。今ではその必要もなくなり、英語力の上達に驚いています。

これも深川市が国際交流事業に力を注ぎ、外国人と接する機会が増えている成果と感じています。地域社会もグローバル化する中で、国際社会に対応出来る人材育成がいかに大切であるかを感じています。

「継続は力なり」と言いますが、未永くこのイベントが開催されることと、これからの地域社会を支える視野の広い心豊かな人材が育っていくことを望んでいます。



姉妹都市アボツフォード市から高校生の交換留学生在来深

今年度から、深川市で開始された姉妹都市アボツフォード市との交換留学制度で、9月25日(水)から12月1日(日)までの10週間、アボツフォード市の高校生5名がホームステイをしながら深川西高等学校に通学いたしました。

滞在中は、市主催の「地球の森プロジェクト」に参加し市民や大使館関係者との植樹や、音江小学

校や北新小学校の訪問、多度志小学校の「多小まつり」に参加し小学生との楽しい交流も深められ、アボツフォード市親善大使としても活躍しました。

また、市と深川国際交流協会が主催した、3泊4日の宿泊研修では、道立青年の家や大滝村の大滝セミナーハウスに宿泊し、洞爺湖や伊達時代村の忍者ショーを見学、おいらん道中の野外劇にも特

別参加するなど、私たちにとってもたいへん思い出に残るものとなりました。



ケレン ヘルナンデス
Keren Hernandez
16歳



ナタリー ミッシェル
Natalie Michal
16歳



コリーン ムンロ
Colleen Munro
16歳



ゲイリー アンダーソン
Gary Anderson
16歳



サイモン バインダー
Simon Binder
15歳

国際理解講演会「国際交流から民際交流へ」

深川国際交流協会 国際理解部会 部会長 中川良平

2002年11月9日に開催した「国際理解講演会」は、講師に北海道新聞旭川広報部長の喜多義憲さんと深川市英語指導助手のデボン・コリーナ・ウイルソンさんの2名を招き、同日開催した「青少年カナダ交流訪問団報告会」に引き続き開催しました。

喜多さんは、「これからの朝鮮半島と日本」と題して、昨今、注目されている韓国、そして北朝鮮について軍事境界線での取材等を通じての興味深い内容を解りやすくお話していただきました。「これからの国際交流は、若い世代を中心に個人レベルのきずな

を深める民際交流が大事」と話され、この言葉が印象に残りました。

また、デボンさんは「アボツフォード市の生活」と題して、デボンさんが日本に来てからの生活をユーモアたっぷりに楽しく話していただきました。

深川市青少年カナダ交流訪問団の報告会に参加して

深川市立深川中学校 山下裕史

「深川市青少年カナダ交流訪問団の報告会」のご案内をいただきまして、校長先生に代わって私が出席させていただきました。

6年前、私が栗沢町の美流渡に勤務していた当時のことを思い出しました。

栗沢は、オレゴン州のキャンビーという小さな田舎町と姉妹都市となり、毎年人的交流を行っていました。私が赴任したその年に副団長をおおせつかり、キャンビーに生徒と共に派遣されました。

一人ずつホストファミリーに割り振られ、そこで異文化体験をしたわけですが、子どもたちの順応性の早さには驚きました。2～3日もたつともうアメリカの生活にも親しみ、アメリカの生活をエンジョイしていました。食事の手伝いをする者有り、家業を手伝う者有り、ウォータースキーに興じる者有り、等。順応性、受容性は素晴らしいと思いますし、そういう形でコミュニケーションをとれると言うことは、仲良くできると言うことだと思いました。

今回のアボツフォード派遣団

の報告から、すぐにホストファミリーにうちとけ、アメリカの生活を楽しみ、心の交流コミュニケーションを沢山図ってきた様子が伝わってきました。

また、価値の異なった物や事を、そのまま受け止めることができず様子が伝わってきました。大人になると自分の価値観と異なるものを受け止めづらくなります。しかし、子どもたちは素直です。相手の立場に立って物事を考えることができます。素晴らしいことだと思います。

深川市のアボツフォードへの派遣事業の参加者は、中学生と高校生。色々なことを正面から考え、取り組める年代です。今回のアボツフォードの報告会を聞いていて、痛切にそう思いました。参加した一人一人の報告の内容の素晴らしさ、その発表態度の随所にてくる異文化体験から得た自信らしきものに、国際人としての感覚などを感じました。

鈴木団長さんの言葉にもありましたが、「国際人の仲間入り」「体当たりの異文化体験」「心のキャッチボールができた」等の言

葉が、それらを言い当てているのではないかと思います。

アボツフォードの派遣された皆さん、ご苦労様でした。その経験を是非今後の自分の生き方に生かしてください。派遣事業を準備された国際交流教会の皆さん、お疲れさまでした。素晴らしい事業だと思いますので、今後とも是非、継続してください。最後に、報告会に参加する機会を与えてくださり、大変有り難うございました。私自身も「国際化」「異文化間コミュニケーション」の重要性を再認識させていただきました。このような貴重な体験をさせていただきまして、ありがとうございました。





↑国際理解講演会 喜多義憲氏



↑'02 青少年カナダ交流訪問団報告会



↑'02 青少年カナダ交流訪問団 (さよならパーティーにて)

募集しています！

☺「ホストファミリー」…………… 現在 41 家族の方が登録されています。

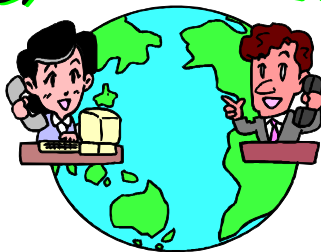
☺「通訳・翻訳ボランティア」… 現在 23 名の方が登録されています。

☺「深川国際交流協会会員」 …… 現在、一般会員は 88 名、賛助会員 44 団体です。



【問い合わせ先】深川国際交流協会事務局（深川市企画課） ☎26-2215

世界に発信する深川地球市民



<http://www.kjinkobo.com/fukakoku/>

【広報誌発行責任者】谷口保幸（広報部会部会長）

【広報誌編集担当】深川国際交流協会 広報部会

編集長：南部雄二 副編集長：橋本 信

編集委員：高橋保之・池田敏江・稲田伸人・今井敏雄・大野昌子・上垣由紀子・北本清貴・小橋厚子・鈴木美彦・高橋昇

坪井義広・寺下良一・橋向利勝・広野勝利・藤岡順子・三ッ井隆博